

刊行に寄せて



文部科学大臣

末松信介

科学技術立国の実現は、岸田政権が掲げる成長戦略の重要な柱です。科学技術・イノベーションは、我が国の成長のエンジンであり、また、新型コロナウイルス感染症、気候変動、自然災害といった我々が直面する課題に立ち向かっていく上で、必要不可欠なものでもあります。

第6期科学技術・イノベーション基本計画においては、「直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」であるSociety 5.0を、科学技術・イノベーションの力で実現することを掲げました。

一方で、我が国の研究力については、研究力を測る主要な指標である論文指標について、国際的な地位の低下が続き、研究力の低下が懸念される状況となっています。科学技術・イノベーションは我が国の生命線であり、研究力の強化が、喫緊の課題です。

今回の白書第1部では、我が国の研究力の現状について、主要国との比較を含め、様々な観点から分析を行うとともに、世界と伍する研究大学の実現に向けた取組や、若手研究者支援の取組など、科学技術立国の実現に向けた取組を紹介します。本白書が、国民の皆様にとって、科学技術・イノベーションに関する施策の現状を御理解いただく一助となることを願っております。